報道関係各位

<20113年秋冬 神戸洋服フェスティバル> (プレスリリース)

神戸ファッション美術館とコラボレーション

神戸業服と目客の男服

若手とベテランがオーダー受注会

---- 10月19日(土)、20日(日)神戸クリスタルタワー3階

兵庫県洋服商工業協同組合の 2013 年秋冬 共同展示会「神戸洋服フェスティバル」は、神 戸ファッション美術館が開催中の「日本の男 服」展とのコラボレーションによる「神戸洋 服と日本の男服」をテーマに開催します。会 期は10月19日(土)、20日(日)、神戸クリス タルタワー3階、午前10時~午後6時(2日 目は5時30分)。

会場には神戸のテーラー職人が仕立てた本物の洋服に加え、男の流行として一世を風靡した1960年~70年代トラディショナル、アイビールック、ヨーロピアンファッション



の当時の洋服(神戸ファッション美術館提供)を展示します。この機会に、多くの消費者に *男の服、を啓蒙することで、ファッション都市神戸、さらに近代洋服発祥の地・神戸をアピールします。

展示会では、生地から選ぶ、仕立てから選ぶ、好みのスタイルを実現する、オーダーメードの受注を行います。スーツでは工場縫製仕立てによる6万円台からの商品を用意し、ヤング層を取り込む企画に力を入れています。仕立てる=高額というイメージが強いが、価格ニーズに対応した新しい商品を打ち出すことで、購買層



意欲ある若手に技術を伝承する

のすそ野を広げます。(写真は昨年秋の展示会)

神戸ものづくり職人大学のOBはじめ、テーラーを目指す若手が、マイスター、ベテランテーラーに加わり、展示会を盛り上げます。これからの業界を担い、市場を広げるためにも若いエネルギーが求められます。熟練職人との二人三脚で、新規開拓を進め、神戸洋服の新時代構築に取り組みます。

洋服難民の時代だと、今の紳士服業界で聞かれます。とくに、シニアを中心に、体型に合った洋服が少なくなっているからで

す。なぜなら、現在メーカーがベースにしている既製服の JIS 企画では袖が長い、着丈が長い、ズボンがしっくりしないなど、買っても直さなければならない商品になってしまうのです。オーダースーツは仮縫いのない工場仕立てであっても、しっかり採寸し、体型補正まで確認することから、着心地は既製服より優れています。クオリティーの高い服地を選べば、お客様満足度は高まり、神戸洋服を再認識してもらえることでしょう。

この件についての問い合わせは電話 078-335-5848、兵庫県洋服商工業協同組合事務局または http://youfuku.biz/からメールでアクセスを。